

# 地域中核・特色ある研究大学総合振興パッケージの改定の方向性

- 日本全体の研究力を向上させるためには、大学ファンドによる限られたトップレベルの研究大学への支援と同時に、地域の中核となる大学や特定分野に強みを持つ大学など、**実力と意欲を持つ多様な大学の機能を強化**していくことが重要
- こうした背景の下、実力と意欲を持つ大学が、**自身の強みや特色を最大限発揮し、成長の駆動力となってグローバル課題の解決や社会変革を牽引**することを目指し、政府全体の支援策を「**地域中核・特色ある研究大学総合振興パッケージ**」としてとりまとめ、**今年2月の総合科学技術・イノベーション本会議にて決定**
- 来年度に向けては、**引き続き関係府省が連携し、当該パッケージに基づいた支援を着実に推進**するとともに、現在、制度設計の具体に向けた検討が進められている大学ファンドの状況を踏まえ、**日本全体の研究力発展を牽引する研究大学群の構築に資するパッケージ内容へと、さらに発展・進化させていくことが肝要**

## 量的拡大

- ◆ 令和5年度概算要求額 **658億円**  
(令和4年度予算額(462億円)比 **1.4倍増**)

この他、関連予算として **1,114億円**  
(令和4年度予算額(584億円)比 **1.9倍増**)

両者併せて、**約1,800億円規模**で概算要求

※関連事業とは、大学が参画することも可能な事業。  
予算規模については、内数のものも総額を計上

## 質的拡充

- ◆ **総合振興パッケージ(令和4年2月策定)の「今後に向けて」を踏まえた改定**  
⇒ **日本全体の研究力発展を牽引する研究大学群の形成に向けた大学ファンド等とも連動した研究システムの構築**  

総合振興パッケージ(抄)

  - 本パッケージについては、文部科学省\*で検討の緒に就いた、**大学の強みや特色を伸ばす取組強化の具体化・実質化等に向けた議論の動向**も踏まえつつ、今後、改定を行っていく予定(※ 科学技術・学術審議会大学研究力強化委員会)。
- ◆ **総合振興パッケージに含まれる各府省の事業間の連携強化や、「関連事業マップ」の更なる充実**
- ◆ **研究者が研究に専念できる時間確保に向けた専門職人材の量・質の確保や、研究DXや設備・機器等の研究インフラ管理・利活用など、大学の研究マネジメントに着目した政策等との連動**

# 特色ある強みを持ち、成長する研究大学群の形成に向けて

大学ファンド支援対象大学とそれ以外の大学とが相乗的・相補的な連携を行い、共に発展していくためには、**地域の中核・特色ある研究大学が、特定の強い分野において魅力的な拠点を形成し、それを核に大学の活動を拡張するモデルの横展開と発展が必要。**

## 日本全体の研究力発展を牽引する研究システムを構築



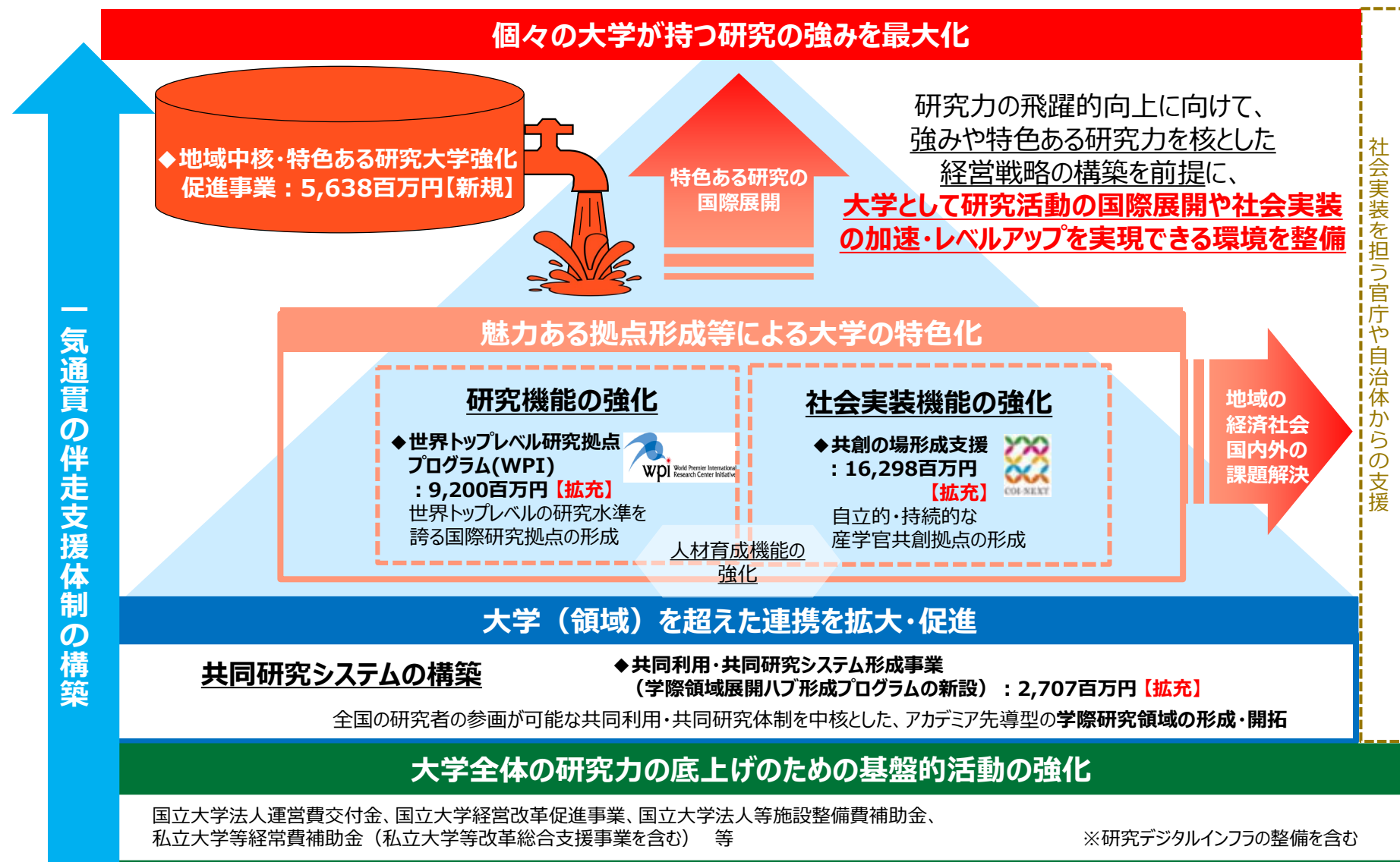
# 地域中核・特色ある研究大学総合振興パッケージの拡充

令和5年度要求・要望額 566億円  
(前年度予算額 373億円)

※運営費交付金中の推計額含む



文部科学省



## 個々の大学が持つ研究の強みを最大化

◆地域中核・特色ある研究大学強化促進事業：5,638百万円【新規】

特色ある研究の国際展開

研究力の飛躍的向上に向けて、強みや特色ある研究力を核とした経営戦略の構築を前提に、**大学として研究活動の国際展開や社会実装の加速・レベルアップを実現できる環境を整備**

## 魅力ある拠点形成等による大学の特色化

### 研究機能の強化

◆世界トップレベル研究拠点プログラム(WPI) : 9,200百万円【拡充】  
世界トップレベルの研究水準を誇る国際研究拠点の形成



### 社会実装機能の強化

◆共創の場形成支援 : 16,298百万円【拡充】



自立的・持続的な産学官共創拠点の形成

人材育成機能の強化

地域の経済社会国内外の課題解決

## 大学（領域）を超えた連携を拡大・促進

### 共同研究システムの構築

◆共同利用・共同研究システム形成事業 (学際領域展開ハブ形成プログラムの新設) : 2,707百万円【拡充】

全国の研究者の参画が可能な共同利用・共同研究体制を中核とした、アカデミア先導型の学際研究領域の形成・開拓

## 大学全体の研究力の底上げのための基盤的活動の強化

国立大学法人運営費交付金、国立大学経営改革促進事業、国立大学法人等施設整備費補助金、私立大学等経常費補助金（私立大学等改革総合支援事業を含む）等

※研究デジタルインフラの整備を含む

# 參考資料